

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉ボランティア活動促進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・ボランティア団体・個人 ・ボランティアを依頼する団体・個人	意図	ボランティア活動を支援することにより、市民福祉の向上を図る。
事業内容	ボランティア講習会等の開催や、情報の提供、器材の貸出しを行い、ボランティアの育成と活動支援に努めるとともに、ボランティア・グループ、ボランティア関係団体との連絡調整を密にし、ボランティア活動の普及推進及び支援に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	ボランティアの相談件数は増加傾向にあり、登録人数、団体数は増加傾向にある。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	ボランティア登録（個人）	822	887	707	
②	延参加数（個人）	6,271	5,329	4,842	人	↑↑↑	
③	ボランティア登録（団体）	78	81	81	団	↑↑↑	
④	延参加数（団体）	44,788	44,396	43,647	人	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・ボランティアの登録数及び参加数が減少傾向にある。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	市内ボランティア活動の推進を一手に担っている、流山市社会福祉協議会と連携していく	③取り組みの課題	社会福祉協議会を支援し、福祉ボランティア活動を促進していく必要がある
②今年度(H26)に実施した取り組み	流山市社会福祉協議会事業へ補助金を交付し、そこからボランティア活動促進事業への支援を行った	④今後の改善計画	ボランティアセンターを運営する流山市社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動促進事業を推進していく